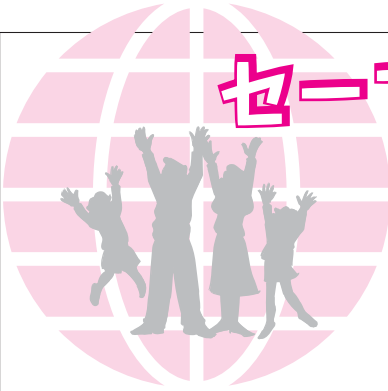


セーフコミュニティいずみおおつ



本市では、国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指して、今年6月に活動開始を宣言しました。ここでは、セーフコミュニティについて皆さんの理解を深めていただくための情報をお届けします。

Vol.5 「地域診断」について

泉大津市セーフコミュニティで取り組む分野（対策委員会）は、10月に開催した第2回泉大津市セーフコミュニティ推進協議会において、「交通安全（交通安全対策委員会）」、「子どもの安全対策委員会」、「高齢者の安全（高齢者の安全対策委員会）」、「自殺予防（自殺予防対策委員会）」、「犯罪・暴力の防止（犯罪防止対策委員会）」、「災害対策（災害時の安全対策委員会）」の6つの分野に決定したところです。

取組分野を決めるためには、安全・安心に関して泉大津市がどのような状況にあるのかを把握する必要があります。そのため市では、関係行政機関（警察・消防など）が所有する統計データや市民アンケートでの結果を集約・分析する地域診断を実施しました。

その中から取組分野を中心とした泉大津市の状況について、その一部をご紹介します（下記）。

今回の地域診断では、事故や外傷のおよその状況を把握することに努めましたので、各対策委員会での取り組みが進むにつれて、さらに詳細なデータが必要となることも考えられます。

11月から各対策委員会がスタートし、それぞれの分野でより具体的な課題や対策を検討していきます。対策委員会が検討するセーフコミュニティ活動においては、地域診断などでのデータを基に取組んでいくこととなり、それはセーフコミュニティ認証の指標の一つになっています。

セーフコミュニティイメージソングが決定しました♪

泉大津市セーフコミュニティの普及啓発活動の一つとして、本市出身のバンド「CRUSH（クラッシュ）」の「ZONE（ゾーン）」がイメージソングに決定しました。泉大津のために作られたとされるこの曲は、皆さんが口ずさめる歌いやすい曲で、その歌詞はセーフコミュニティを連想することができるところから第2回推進協議会において決定されました。今後はセーフコミュニティ関係行事などで活用していく予定です。

問合せ 危機管理課（市役所4階）

泉大津市の状況

○交通事故に関して

- ・外傷による救急搬送では「交通事故」が最も多い。
- ・交通事故の発生件数・負傷者数は、全国や大阪府と比べて多い。
- ・市民が不安に思う事柄では、「交通事故」は上位。

○自殺に関して

- ・外傷による死亡の中では、「自殺」による死亡が最も多い。
- ・自殺に関する地域活動に取り組んでいる市民は約1割

○犯罪に関して

- ・犯罪認知件数は、全国や大阪府と比べて多い。
- ・「加害」による外傷の救急搬送人員が、全国や大阪府と比べて多い。
- ・市民が不安に思う事項では、「犯罪被害」は上位。

○子どもに関して

- ・一般負傷による救急搬送が0～14歳の年齢層で多い。
- ・過去1年間の事故・けがの状況において、「就学前の子ども」および「小学生」の約7割が「転倒・転落」でけがをしている。

○高齢者に関して

- ・一般負傷による救急搬送は65歳以上の高齢者で最も多い。
- ・転倒・転落、不慮の窒息など不慮の事故による死亡は高齢者層で多い。
- ・「転落・転倒」に対して多くの高齢者が不安を感じている。

○自然災害に関して

- ・南海トラフの巨大地震では、最大4.4mの津波が約95分で来襲、市域の約4割の浸水が想定されている。
- ・市民が不安に思う事柄で最も多いのは「自然災害」。
- ・防災対策を講じている人は半数に満たない。

いずみおおつ

参考 泉大津市セーフコミュニティ
「泉大津市における地域診断のとりまとめ」（平成26年10月）